



最後の一枚の葉 (31)

原題：The Last Leaf

そんなのは聞いたこともないぞ。
あほ隠居ののろまのモデルなん
かやらんぞ。何でらそんなんたら
つまらんことをあの子のあたまに
考えさせるんだら。あのかわいそ
うなかわいいヨーンジーに」
「病気がひどくて、体も弱ってい
るのよ」とスーは言いました。
「高熱のせいで、気持ちがり落ち込
んでて、おかしな考えで頭がいっ



最後の一枚の葉 (32)

ぱいななのよ。えーえ、いいわよべーアマンさん。もしも私のためにモデルになってくれないなら、しなくて結構よ。でも、あなたはいやな老いぼれの — 老いぼれのコンコンチキだわ」

「あんたも女ってわけだ」とベーアマンは叫びました。「モデルにならんと誰が言ったらんか。いかね。あんたと一緒に行くった



最後の一枚の葉 (33)

原題：The Last Leaf

らさ。モデルの準備はできてる
と、三十分もの間、言おうとした
ったらさ。ゴット！ここは、ヨー
ンジーさんみみたいな素敵なお嬢さ
んが病気で寝込むところじゃない
ったら。いつか、わしが傑作を描
いたらって、わしらはみんなここ
を出ていくんだら。ゴット！そう
なんだら」

上の階に着いたとき、ジョンジ



最後の一枚の葉 (34)

ーは眠っていました。スーは日よけを窓のしきいまで引っ張りおろし、ベーアマンを別の部屋へ呼びました。そこで二人はびくびくしながら窓の外をつたを見つめました。そして一言も声を出さず、しばし二人して顔を見合わせました。ひっきりなしに冷たい雨が降り続き、みぞれまじりになっていました。ベーアマンは青い古シャツを



最後の一枚の葉 (35)

着て、ひっくり返したなべを大岩に見たて、穴倉の隠遁者として座りました。

次の朝、一時間ねむったスーが目覚めると、ジョンジーはどろんとした目を大きく開いて、降ろされた緑の日よけを見つめていました。

つづく